



令和6年度京都市伝統産業技術功労者表彰式及び 京都市伝統産業「未来の名匠」認定式の合同式典開催

京都市では、1200年を超える悠久の歴史の中で磨き抜かれた伝統産業の卓越した技と美を極め、永年にわたり伝統産業界を牽引してこられた方々を「京都市伝統産業技術功労者」として顕彰しています。また、今後の伝統産業界を牽引する担い手を育成するため、市内で活躍する優秀な伝統産業中堅技術者の方々を「京都市伝統産業『未来の名匠』」として認定しています。

この度、新たに11名の方々を「京都市伝統産業技術功労者」として顕彰するとともに、9名の方々を京都市伝統産業「未来の名匠」として認定し、表彰式及び認定式を合同開催します。

1 合同式典について

(1) 日 時 令和6年12月16日(月) 午前9時45分～11時

(2) 場 所 京都市役所 本庁舎4階 正庁の間

(3) 令和6年度京都市伝統産業技術功労者顕彰

ア 顕彰者 別紙1のとおり

イ 人 数 11名

ウ 年 齢 61歳から84歳まで ※令和6年12月現在

(4) 令和6年度京都市伝統産業「未来の名匠」認定

ア 認定者 別紙2のとおり

イ 人 数 9名

ウ 年 齢 36歳から58歳まで ※令和6年12月現在

(5) 式次第(予定)

- ・ 開会
- ・ 来賓紹介
- ・ 顕彰11名(技術功労者)
- ・ 認定9名(未来の名匠)
- ・ 市長式辞
- ・ 来賓祝辞
- ・ 謝辞
- ・ 閉会
- ・ 写真撮影

(6) 作品の展示

京都市役所本庁舎地下連絡通路において、上記(3)(4)の顕彰者及び認定者の作品を展示します。

展示期間：合同式典終了後～12月27日（金）

2 京都市伝統産業技術功労者顕彰記念作品展の開催

- (1) 開催日 令和7年2月4日（火）～9日（日）※予定
- (2) 場所 京都市勧業館「みやこめっせ」地下1階
京都伝統産業ミュージアム MOCAD ギャラリー
- (3) 展示内容 今年度の伝統産業技術功労者の作品を展示

3 京都市伝統産業未来の名匠「技の披露展」の開催

- (1) 開催日 令和7年3月 ※予定
- (2) 場所 京都市勧業館「みやこめっせ」及び
京都駅ビルインフォメーションセンター前
- (3) 展示内容 今年度の未来の名匠認定者の作品を展示

令和6年度京都市伝統産業技術功労者（敬称略、順不同）

【先染・織 部門】

▽ 野崎 富雄（のざき とみお）（西陣織（製織））



ジャカードが搭載されたレピア織機の製織に従事している。金襴地を中心に、お守り、御朱印帳の表紙の生地、椅子生地、舞台衣装など多岐に渡る製織に従事しており、長年培ってきた経験や知識により、西陣の多種多様な織物を織ることができることに加え、織機の構造を熟知していることから、自身で織機の調整や簡単な修理を行うことができる。また、太さや性質の異なる糸を用いて製織をするためには、織機の両サイドに付いているよこ糸切断用カッターのタイミング調整等を行う必要があるが、氏は長年の経験でこれらを適切に行うなど、高い技術力を有している。（勤務先：上京区）

▽ 平木 幸子（ひらき さちこ）（西陣織（製織））



長年に渡りシャトル織機の製織に従事し、現在は法衣を中心に製織している。7,800本のたて糸で構成された朱子組織の法衣を、たて糸に起因する傷が発生しないよう、常に注意しながら製織できる高い技術力を持っている。受注する法衣はフルオーダーが多いため、一反の長さや各部の寸法、片撚りのよこ糸の合わせ本数や色、たて糸及びよこ糸張力などを適切に変更して、オーダーどおりに織り上げている。様々な工房に在籍した経験から、法衣のみならず、帯や御召、柄箔を用いた織物など、製織に関する多種多様な知識と経験を有している。（勤務先：上京区）

▽ 金築 和也（かねちく かずや）（西陣織（繊維染色加工））



主に帯や着物、金襴などに使用される絹糸を染色しており、目視と経験によって色合わせを行う「勘染め」による機械染色を行っている。色ムラや色ブレを低減させ、高水準の染色を行うため、小ロットでの注文にも機械染色で対応しているほか、精練も自社で行っている。丁寧なコミュニケーションを通じて依頼者のニーズや好みをくみ取り、三原色以外にも様々な色合いの染料を駆使して、深い色合いを表現している。光源の違いに起因するトラブルを防ぐため、四種類の光源を用意して、依頼者の指定した光源に合わせて色の確認を行っている。（勤務先：上京区）

【染色 部門】

▽ 吉村 拓哉（よしむら たくや）（京友禅（型染））



振袖を専門とした染色加工を行い、自身がデザイン考案や色指定を行っている。デザインは、明治時代の図柄や海外ブランド、写真、建築や絵画など様々なモチーフから着想を得ており、繁忙期には自らが型染を行うことから、職人の製造工程や作業方法も意識して作り上げられている。インクジェットによる染色が増えている振袖において、伝統的な型友禅を大切にしており、紙型と写真型を併用したきもの製造を行っている。（勤務先：下京区）

▽ 仁保 明（には あきら）（京友禅（糊置））



京友禅の糸目糊置、伏糊置、堰出糊置に精通するほか、半防染のダンマル描や色ゴム糸目などでも優れた技術を持っている。糸目糊置の中でも赤糸目糊置では、氏が自ら糊を調合して炊いており、ふっくらとした味わいを醸し出し、柔らかい線を表現することができる。ゴム糸目糊置や伏糊置についても、自身で糊を適切な硬さに調節することができ、繊細で美しい線を実現しているほか、堰出糊置を地色の濃色と生地白で鮮やかに表現する技術を有している。特に花鳥風月の線上げを得意としており、風景描写ではその技術を遺憾なく発揮している。

平成18年、伝統工芸士認定（勤務先：右京区）

▽ 長舛 純恵（ながくさ すみえ）（京繡）



きものや帯、小物をはじめとした和装製品のみならず、室内装飾品、洋服など様々な製品に京繡を施している。古典文様や花の写生刺繡、創作刺繡などを得意とするほか、源氏物語をはじめとする王朝時代の文物をモチーフにした作品も数多く製作している。上品な色彩表現と繊細で華麗な図案表現技術を持ち、独自の技法開発も意欲的に行っている。また、注文者一人一人に合わせたデザインを提案し、自身で草稿・下絵・配色・繡加工を行っている。糸自体も自身で太さを変えており、自ら糸を撚って調整し、時には複数の糸を混ぜながら、深みや立体感のある作品に仕上げている。平成9年、伝統工芸士認定（勤務先：北区）

【諸工芸 部門】

▽ 江見 司（えみ つかさ）（造園）



京都の伝統的な技法を用いた庭造りを行っており、町家や寺院、店舗の庭の施行のほか、既存の庭にある庭石や植木等を再利用した庭のリノベーションを手掛けている。竹垣、蹲踞、石組み、石張りなど分業制の進む造園業において、図面作成から施行まで一貫して自身で手掛けており、特に、外注が増えている竹垣や杉皮垣を得意とするほか、「野すかし」などの伝統技法を用いて、自然に近い庭づくりを心掛けている。また、施主との対話を繰り返し、様々な角度から提案していく中で信頼関係を構築し、施主が満足する庭に仕上げている。（勤務先：西京区）

▽ 山川 敦司（やまかわ あつし）（京焼・清水焼）



茶道具を中心に様々な器を製作しており、伝統的な作風や技術を大切にしながらも、季節や流行を取り入れつつ柔軟にデザインを提案している。成形と器のデザインを得意としており、坏土に色材を添加することで、あえて生地の色をくすませて古色を再現するなど、技術開発にも積極的に取り組み、妥協しないものづくりを続けている。また、ペット飼養に悩む方の相談を受け、ペットの遺骨を陶器のように加工する技術を開発し、特許を取得するほか、京都市輝く地域企業表彰の地域企業輝き賞や京都市これからの1000年を紡ぐ企業認定を受けるなど、高い評価を受けている。平成19年、伝統工芸士認定（勤務先：東山区）

▽ 小嶋 護（こじま まもる）（提燈）



江戸時代から続く小嶋商店の九代目であり、提燈製造の中でも文字入れや絵付けの工程を得意としている。過去は分業制で各工程を外注していたが、職人の高齢化などを受け、父や職人からの指導により技術を磨き、自社での一貫製造を実現した。現在の提燈製造は、巻骨式が一般的だが、京都らしい伝統的な地張式での製造にこだわっている。地張式は糸で竹を一本ずつ結ぶため、工数が多く時間がかかるが、厚い紙に耐えられる耐久性を実現している。（勤務地：東山区）

【食品 部門】

▽ 楫 充円（かじ みつのぶ）（清酒）



酒造りの起点となる酒母発酵工程や、圧濾圧搾・製成・詰口工程などの最終工程に携わったほか、吟醸酒造りにおいても六年連続で全国新酒鑑評会の金賞受賞に貢献した。酒母発酵工程では、チームリーダーとして醪管理を担い、複数の発酵タンクの温度や濃度を、データだけでなく見た目や匂いでも精査し、自身の経験を活かして適切に調整できる技術を有している。過去には、手作業で行っていた圧搾工程や洗浄工程の全自動化に、主担当の一人として携わるなど、業界でも機械化の先駆けを担い、酒造技術の発展に大きく貢献した。（勤務先：伏見区）

▽ 村上 嘉一（むらかみ よしかず）（京漬物）



漬物店の四代目であり、千枚漬を中心に、季節に合わせた様々な漬物を製造している。本来ならば仕込み時に酢が使用されるところ、あえて酢を保存料として少量使う程度に留め、昆布を多く用いた味付けにこだわっており、塩加減なども気温に合わせて調整している。千枚漬は昔ながらの木樽を使った漬け方で、石と水の入った重しを使い分け、お客様の手元に届くまでの期間を逆算して下漬と本漬を行っているほか、機械化せず鉋を使って手作業で薄切りにしており、ミリ単位で厚さを調整するなど、熟練の技で、地元の料理屋やお茶屋からも愛されている。（勤務先：東山区）

令和6年度京都市伝統産業「未来の名匠」認定者（敬称略、順不同）



氏 名：吉見 鈴代（よしみ すずよ）
業 種：西陣織
勤務先：株式会社西陣まいづる（上京区）
作品名：綺花楽（き・か・がく）



氏 名：白井 亮助（しらい りょうすけ）
業 種：京都の金属工芸品
勤務先：有限会社りんよ工房（南区）
作品名：TOMOSHIBI ー燈ー（ともしび）



氏 名：福野 雅文（ふくの まさふみ）
業 種：京印章
勤務先：福野孔祥堂（上京区）
作品名：祥雲（しょううん）



氏 名：石田 礼子（いしだ あやこ）
業 種：西陣織
勤務先：岡文織物株式会社（上京区）
作品名：KAKITSUBATA（かきつばた）



氏 名：福村 健（ふくむら たけし）
業 種：絞り染
勤務先：辻が花染め工房 絵絞庵（左京区）
作品名：Butterfly（ばたふらい）



氏 名：倉橋 宏明（くらはし ひろあき）
業 種：京仏具
勤務先：株式会社倉橋（山科区）
作品名：木製蓮華常花 本漆純金箔仕上げ（もくせいれんげじょうか ほんうるしじゅんきんぱくしあげ）



氏 名：藤木 裕哉（ふじき ゆうや）
業 種：珠数
勤務先：株式会社土屋念珠店（下京区）
作品名：みとおりのじゅず



氏 名：米原 康人（よねはら やすと）
業 種：京扇子
勤務先：東山企業組合米原営業所（東山区）
作品名：蝙蝠扇 箔彩（かわほりおおぎ はくいろ）



氏 名：遠藤 大輔（えんどう だいすけ）
業 種：京料理
勤務先：京料理 藤や（中京区）
作品名：みたらしうなぎ